

平成19年度 水道事業会計事業報告

問 上下水道課(内線2222)



業務状況 (表①)

本年度においては、給水人口、給水戸数、年間総配水量、年間有収水量、有収率について、前年度を下回る結果となりました。

有収水量減少の要因は、前年度実施できなかった洗管作業を2年ぶりに実施したこと、および配水管からの漏水によるものと考えられます。

財政状況 (表②)

本年度の総事業収益は3億1277万3千円、総事業費用は3億2936万7千円となりました。この結果、当年度は純損失1659万4千円を計上する結果となり、その補填に本年度も利益積立金を充てました。

表① 業務状況

項目	業務量	前年度比
給水人口	21,509人	- 1.43%
給水戸数	6,463戸	- 0.12%
年間総配水量	2,903,679 m ³	- 0.32%
年間有収水量	2,394,217 m ³	- 1.92%
1日最大配水量	14,434 m ³ (H20/2/24)	+ 16.96%
有収率	82.45%	- 1.62%
導送配水管延長	262,432.1 m	+ 0.17%

表② 財政状況

区分	(千円)	
	19年度決算額	18年度決算額
収入	312,773	316,018
支出	329,367	328,057
差引	- 16,594	- 12,039

区分	(千円)	
	19年度決算額	18年度決算額
収入	250,111	342,228
支出	418,078	562,695
差引	-167,967	-220,467

表③ 主な拡張事業 (千円)

事業名(工事名)	地 係	事業費(工事費)
配水管布設工事(市道6-6号線)	滝波町4丁目	2,184
浄土寺川ダム事業負担金	170字奥山	77,760
その他		22,898
拡張事業合計		102,842

表④ 主な改良事業 (千円)

事業名(工事名)	地 係	事業費(工事費)
新道水源原水処理施設機械電気設備工事(18年度繰越)	荒土町細野	15,125
新道配水池無試薬形遊離塩素計取替工事(18年度繰越)	荒土町細野	3,665
平泉寺配水池劣化・耐震診断調査業務委託	平泉寺町平泉寺	3,203
第7次拡張事業変更認可設計業務委託	平泉寺町平泉寺ほか	2,153
その他		13,440
改良事業合計		37,586

一方、資本的収入は、2億5011万1千円、資本的支出は4億1807万8千円となりました。この結果、1億6796万7千円の不足額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しました。

毎年良質で低廉な水道水の安定供給を図りながら、勝山市水道事業の健全な財政基盤の確立に努めています。本年度も前年度に引き続き損失を計上する結果となりました。収入の主である水道料金収入においては、給水人口の減少などにより、対前年比2%の減少となりました。

一方、支出においては減価償却費や企業債の元金償還が増加し、経営は厳しい状況が続いています。

今後は、更に経営の効率化を図りながら、かつ清浄で安全な水の供給と既存水道施設の維持管理の充実を怠ることなく、累増する償還などに要する費用および減価償却費に対応し得る経営基盤の確立が必要と考えています。

また、7年連続で損失を計上する結果となっている状況を勘案し、料金改定の実施についても検討する必要がありますと考えています。

詳細については、決算書を勝山市立図書館に備えてありますのでご覧ください。

9月定例会市議会

1億5052万8千円増額の一般会計補正予算などを可決

9月定例会市議会が9月5日から24日までの日程で開会されました。山岸市長は、福井社会保険病院の今後について、「ふるさとルネッサンスに掲げた『少子・長寿化等に対応した人によさしいまちづくり』の観点からも、総合病院の存在は根幹をなすべきものであり、その機能を必ず継続させていく決意であります。」と一般質問で応えました。



一般質問で答弁をする山岸市長

● **予算**
一般会計は、1億5052万8千円を増額し、総額を1億15億1265万4千円としました。

● **増額補正の主な内容は、**民間除雪委託にかかる固定費の新規計上、原油高騰による指定管理委託料・各施設の高熱水費の増額、耐震診断未実施7施設の予算計上、保育園入所児童増に伴う補正など、緊急かつ市民生活に直結する経費となっております。

特別会計は、国民健康保険、介護保険、下水道事業、簡易水道事業の補正がいずれも可決されました。

企業会計は、水道事業の補正が可決されました。

● **条例等**
・市民会館および教育会館の一部改修に伴い、条例が一部改正されました
・指定管理者制度など民営化に向けて4つの条例が一部改正されました
・農村集落多目的共同利用施設を無償で譲渡するため、条例が廃止されました
・委員会の条例など、市議会に関する条例、規則が一部改正されました

● **その他**
・その他、工事請負契約の締結など、5つの議案が可決されました
・3つの意見書案が可決されました
・3つの陳情が採択、2つの陳情が趣旨採択、2つの陳情が継続審査となりました

● **委員の選任** (敬称略)
・勝山市公平委員会委員の選任
・福田 稔(平泉寺町赤尾)
・勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任
・松井つね子(元町一)

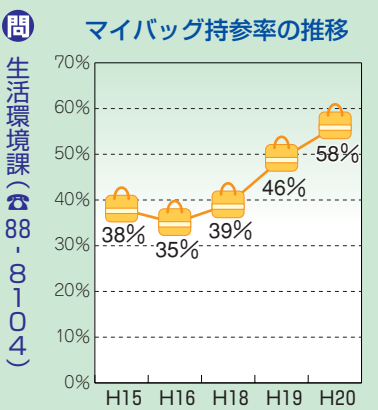
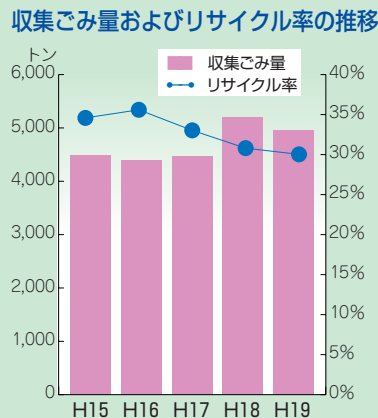
10月は3R推進月間です

ごみを限りなく少なくし、環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)を創りましょう。

- Reduce (リデュース) 廃棄物の発生抑制
- Reuse (リユース) 再利用
- Recycle (リサイクル) 再資源化

勝山の状況は

勝山市のごみの量は、市民のご理解とご協力により、1人1日あたり772g(県平均949g)と県内市町で4番目に少なく、また、リサイクル率も30.4%と県平均(18.8%)を大きく上回っています(いずれも平成19年度福井県速報値)。



勝山市消費者団体連絡協議会と勝山市が6月に行った市内量販店でのマイバッグ調査では、58%のかたがマイバッグを持参しており、県内でも高い持参率との調査結果が出ました。今後もマイバッグ運動にご協力をお願いします。

しかし、平成11年のクリーンセンター操業停止によりごみの量が減少しましたが、近年ごみの量が増加しており、また、リサイクル率も下がっています。

「もったいない」の精神を活かし、ごみの減量化や分別、資源のリサイクルなど、循環型社会を形成するためにの3Rにご協力をお願いします。

● **マイバッグ持参率58%**
家庭から排出されるごみのうち、容器包装廃棄物は容積で約6割、重量で約2〜3割を占めるとされています。